

40代、50代向け!

80年代カルチャーを牽引した『宝島』が復刊!

12/25 新雑誌『宝島AGES』発売

雑誌販売部数トップシェア[※]の株式会社宝島社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:蓮見清一)は、バンドブームや原宿ファッションなどのサブカルチャーを牽引した80年代の『宝島』を、季刊誌『宝島AGES(エイジズ)』として、2014年12月25日に復刊させます。

『宝島』は1973年に創刊して以来、日本のサブカルチャーを牽引してきました。特に80年代の『宝島』はその後の日本のロック、ストリートファッションに大きな影響を与えました。RCサクセション、YMOという時代を作ったアーティストを世に広め、また今のカジュアルファッションの礎となるヒステリックグラマー、MILKなど数々のブランドが「原宿ファッション」を広め、その後の「裏原ブーム」を作り出したデザイナーたちも『宝島』に連載を持っていました。また、当時の読者のなかからも今のトップクリエイターが育ち、彼らの口から「もっとも影響を受けたのは『宝島』だった」と語られることが最近では多くなっています。

『宝島AGES』は、今様々な世代でトップに立ったクリエイターを結集して、「伝説のカルチャー誌」を復刊し、雑誌メディアが世の中に大きな影響を与えることを取り戻す実験、挑戦でもあります。

第1号では、RCサクセションやザ・ブルーハーツ、ラフィンノーズ、有頂天といったパンク・ニューウェイブの音楽シーンから、ファッションブランド・MILK、ヒステリックグラマーなどが生み出した原宿ストリートカルチャー、80年代伝説のクラブ「ピテカントロプス」等のDJ/クラブ・カルチャー、「戦争」と「平和」をキーワードにした対談などを特集。常に新しい視点や価値観を提供していた『宝島』ならではのコンテンツを発信しています。

各企画に登場する面々も、「よしもとばなな×町田康の対談企画」をはじめ、しりあがり寿や中森明夫、渋谷直角、綾小路翔、ヒヤダインなど、80年代の『宝島』で活躍していた人々から当時の読者まで、『宝島AGES』ならではの豪華な顔ぶれとなっています。

宝島社は、2010年には40代女性誌『GLOW』、ナチュラル系ファッション雑誌『リンネル』を、今年3月には40代・50代女性に向けた『大人のおしゃれ手帖』、『オトナミュージック』を創刊し、いずれも月刊10万部以上を売り上げ、新市場を開拓しています。今後も雑誌のリーディングカンパニーとして、読者のニーズを捉えた価値のあるコンテンツを生み出すことで、雑誌市場全体の拡大を図るとともに、業界の活性化に寄与していきたいと考えております。

※日本ABC協会2014年上半期(2014年1~6月)雑誌発行社レポートより

【第1号特集内容】

◆80年代特集

RCサクセションが駆け抜けた80年代、Yellow Magic Orchestra

80's STREET FASHION(大川ひとみ、北村信彦)

伝説のクラブ ピテカントロプスを語る、よしもとばなな×町田康対談、大貫憲章とロンナイの35年、園子温、綾小路翔

◆「戦争」と「平和」 ハッカーズ(堀江貴文、茂木健一郎、金杉肇)対談

◆コラム

みうらじゅん、中森明夫、しりあがり寿、大根 仁(モチキ監督)、

近田春夫、吉田豪、天久聖一、渋谷直角、辛酸なめ子、

ピーター・バラカン、ヒヤダイン、杉作J太郎、箭内道彦、町山広美 etc.

●発売日: 2014年12月25日 ●定価: 880円(税込)

●判型: B5判

